

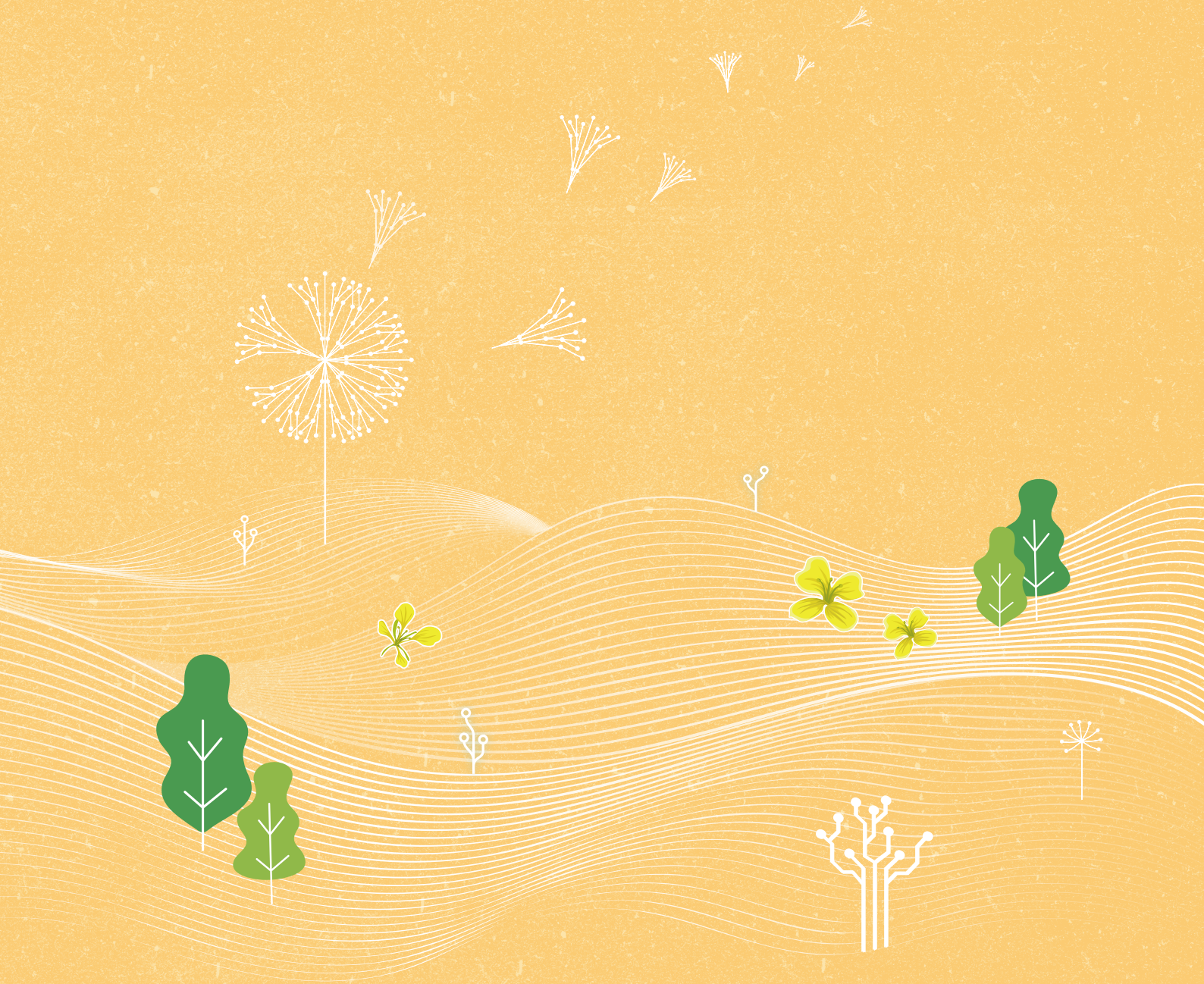
2023

南部サイエンスパーク 年間報告書



そよぐ南風 絶えぬ活力

2023



CONTENTS



目次

局長ご挨拶

Chapter 1

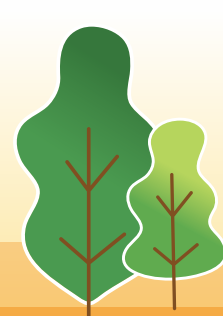
南風が吹く 新たな投資

- 08 穏健な成長 3年連続で兆を突破
- 13 企業誘致 産業クラスター完備

Chapter 2

新しいチャンスを創る 活水を注ぎ込む

- 16 ハイテクコリドー 多様な園區を設置
- 19 新興技術 産業のエネルギーを蓄積
- 20 出展と交流 グローバルな盟友関係



Chapter3

盤石を守る 根底を固める

- 23 労働安全を優先 働きやすい職場作り
- 27 サービス業者 インフラ改善
- 28 南部サイエンスパーク実験中学
優良な運営実績

Chapter4

サステナビリティの創造 自然を保留

- 30 持続可能な施政 ネットゼロ世代の展望
- 31 生態との共栄 みなぎる生命力を再現
- 32 永遠の自然 低炭素建築物の実践

Chapter5

楽しい南部サイエンス パーク 良質な生活

- 33 幸福な南部サイエンスパーク
健康と自然に配慮する職場
- 36 快適な生活 地域文化との連結

Chapter6

- 39 今後の展望について

Chapter7

- 40 行事



局長ご挨拶

辰年の南部サイエンスパーク 繁栄の一途

2023年は、世界的なインフレ、利上げ、在庫消化、地政学的影響等の課題と向き合いながらも、南部サイエンスパークは勢いよく成長し、全体の売上高が前年度比で1千億元以上も増加し、3年連続して1兆元台を実現しました。また、産業投資においても注目すべき点が多く、2023年は企業20社を新たに誘致し、投資額が301.69億元に上りました。このほか、サイエンスパークのハイテク企業は資源を獲得し続け、サイエンスパーク投資計画を実行に移し、産業クラスターの競争力を強化しています。

売上高が増加し続け、企業誘致と資金導入においてめざましい成果が見られ、各園區の建設も全面的に盛んに進められています。台南園區第三期拡張工事、橋頭園區は期日どおりに実施し、嘉義、屏東園區は着工、投資誘致の手順を開始し、楠梓園區は設立計画の承認を得ました。既存の園區はソフト・ハードウェア施設の改善を続け、2035年のハイテク業のビジョンである「先見的イノベーション、民主と包容性、長期持続する韌性」に向かって邁進しています。



また、南部サイエンスパークは「持続可能な資源」を積極的に推進し続け、永康、安平、サイエンスパークの再生水の給水量を台南園區の用水量の2割に相当する5.8万トン/日に引き上げ、安定的に地域に給水しています。サイエンスパークのサステナビリティ措置は、2023 TCSA 台湾企業サステナビリティ・アワードにおいて高く評価され、「サステナビリティ報告書」の最高の榮譽に相当する「政府官庁持続可能な発展自主チェック報告 (VDR) プラチナ賞」及び「職場福祉リーダー賞」を受賞しました。資源再生センターは施設のエネルギー効率向上及び各省エネ措置の実施に積極的に取り組み、經濟部の2023年省エネモデル賞銀賞を獲得し、高く評価されました。

創設時からの着実な取り組みが実り、南部サイエンスパークは毎年1兆元台の生産額を実現しています。さらに、引き続き新設、拡張中の台南三期、橋頭、嘉義、屏東、楠梓の5つの園區は全面的に発展し、利益をもたらし、産業発展のための動力を注ぎ込むと見込んでいます。今後も南部サイエンスパークはイノベーションと転換を継続し、企業と当地住民の共栄と共存に協力し、各界と手を携えて南台湾ハイテクコリドーを構築し、いつまでも心地よく暮らせる幸福なサイエンスパークを創造したいと考えています。



局長蘇振綱

2024.03

Chapter 1

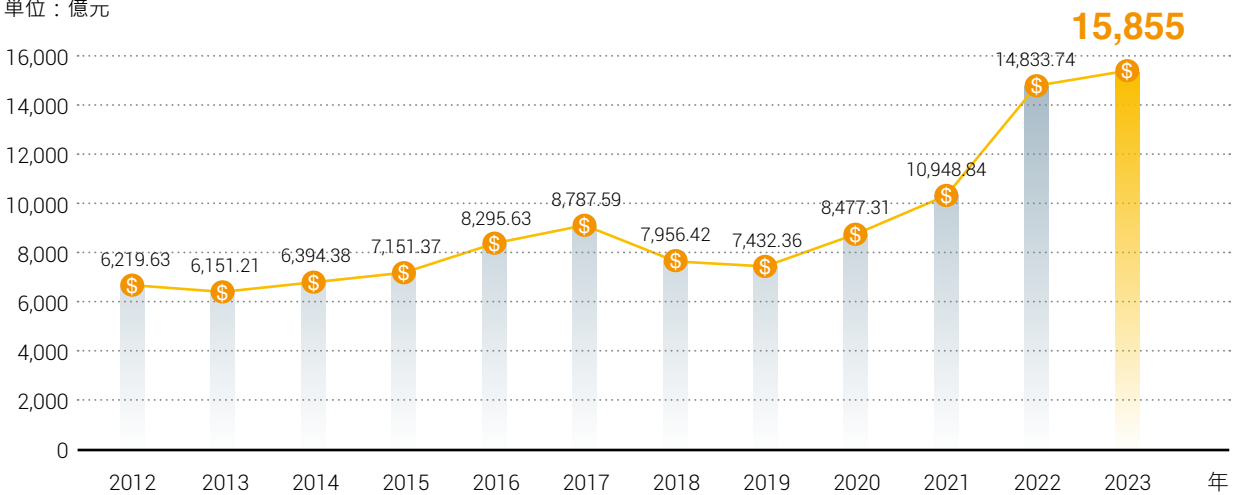
南風が吹く 新たな投資

穏健な成長 3年連続で兆を突破

南部サイエンスパーク（以下、南科）は、2022年に優れた経営実績を創造した後、2023年の集積回路産業の3nm製造プロセスの生産開始により強く支えられ、売上高が15,855億元に達し、2022年比で6.88%増となり、2021年から3年連続して兆を突破しています。また、産業クラスターの引き寄せ効果もあり、2023年は新設の橋頭園區、嘉義園區、屏東園區からの22社を含め、企業273社の入居が承認されました。南科の雇用者数は9.2万人に達し、着実に増加し続けています。

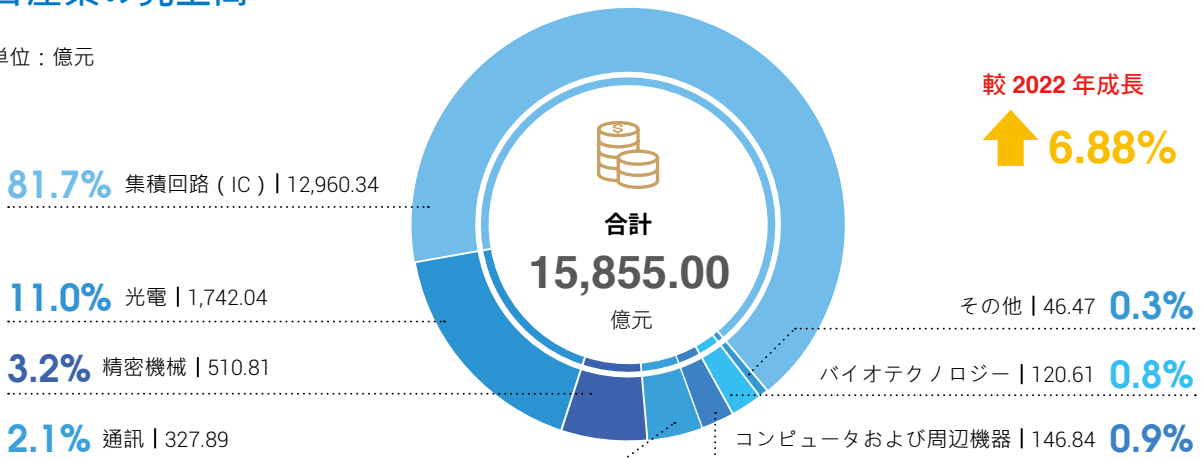
年間売上高（台湾ドル）

単位：億元

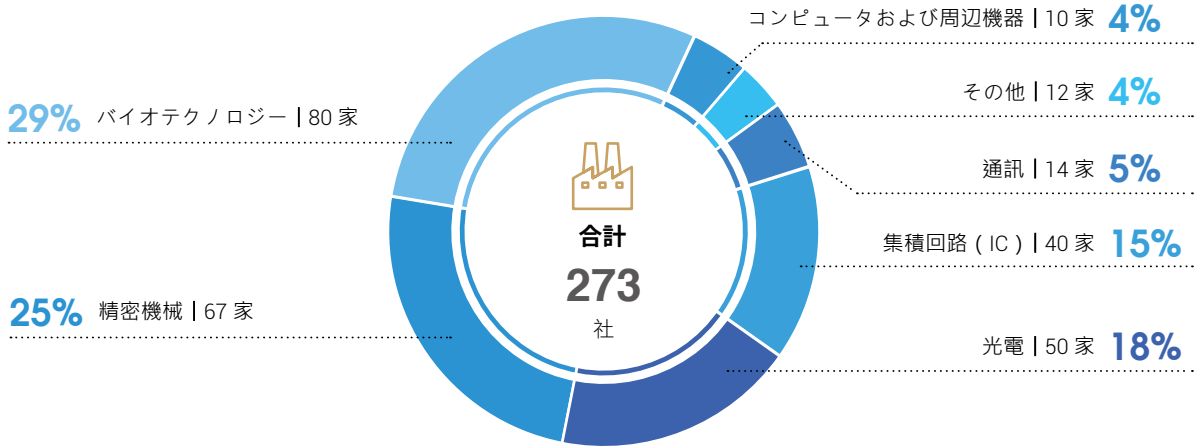


各産業の売上高

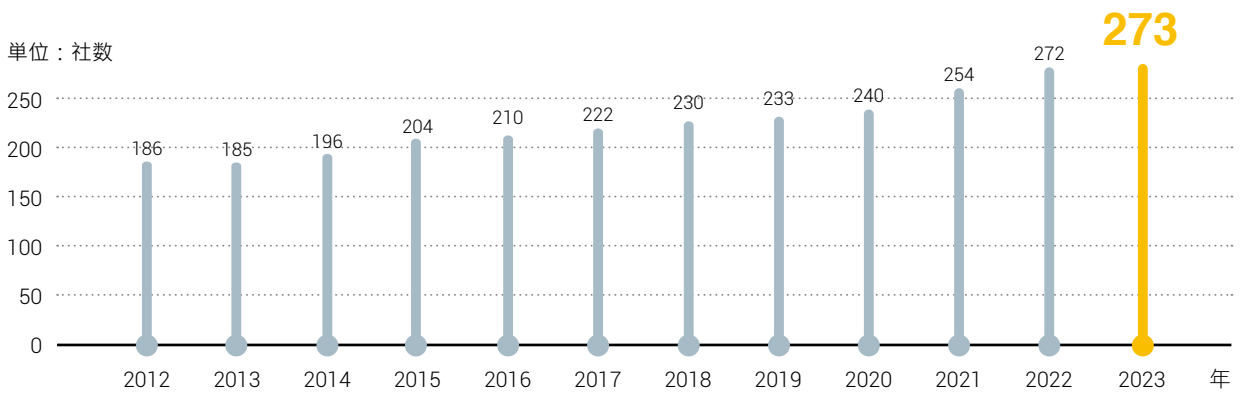
単位：億元



各産業の承認済み企業数



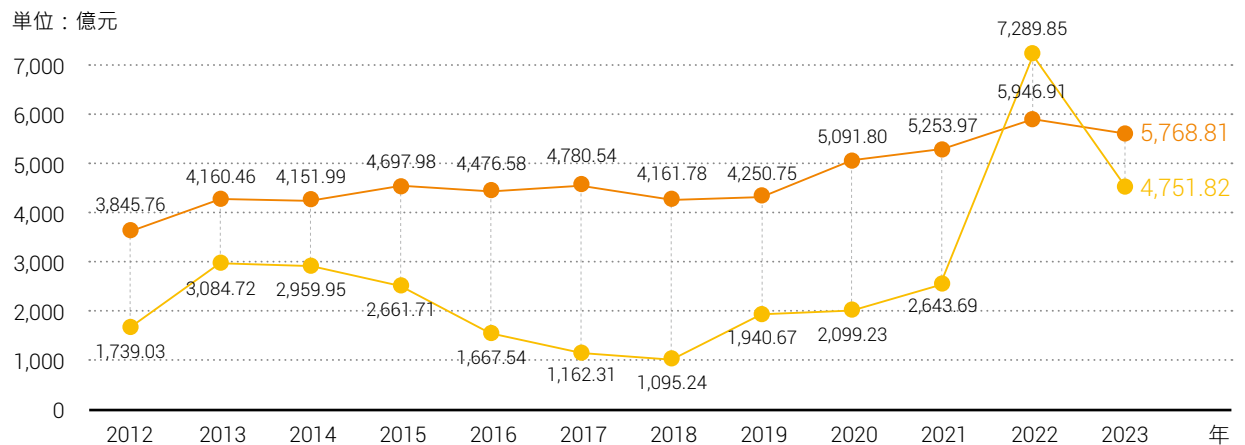
年度累計の承認済み企業数



歴年輸出入額

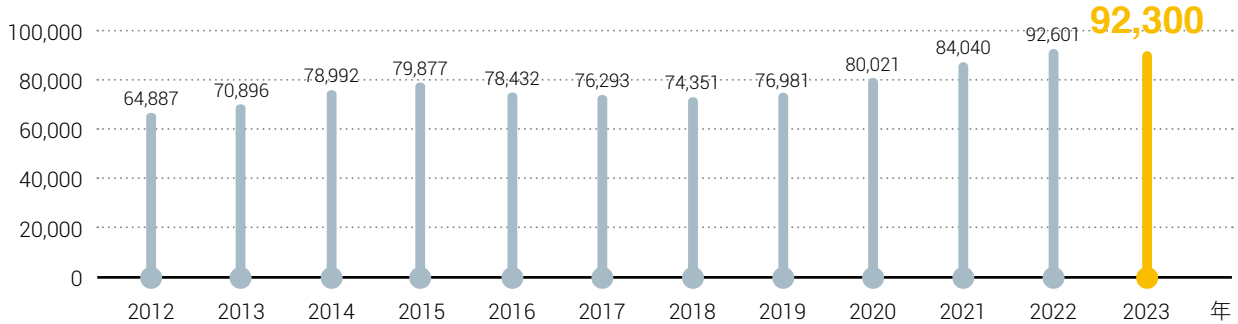
2023 年貿易額 **10,520.63** 億元

輸入額 **4,751.82** 億元 輸出額 **5,768.81** 億元

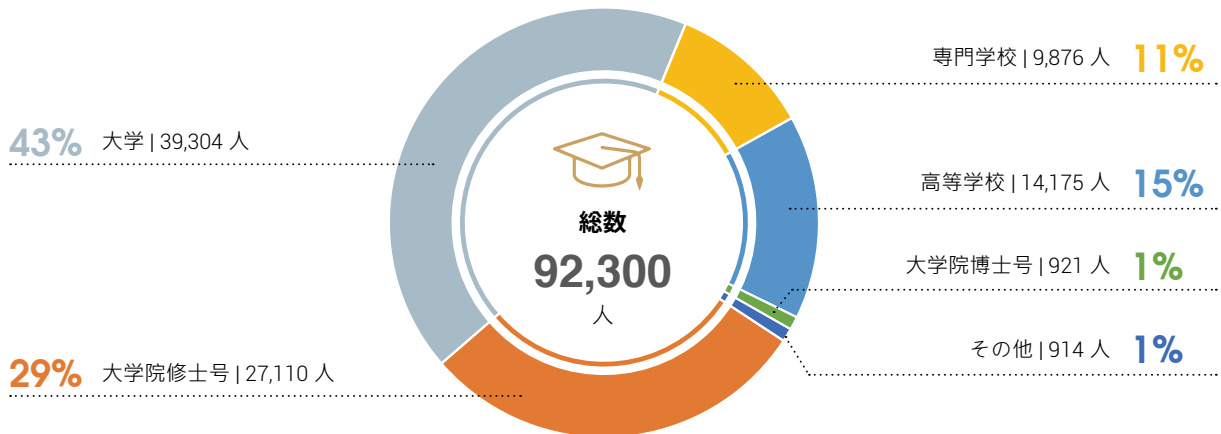


従業員数の推移

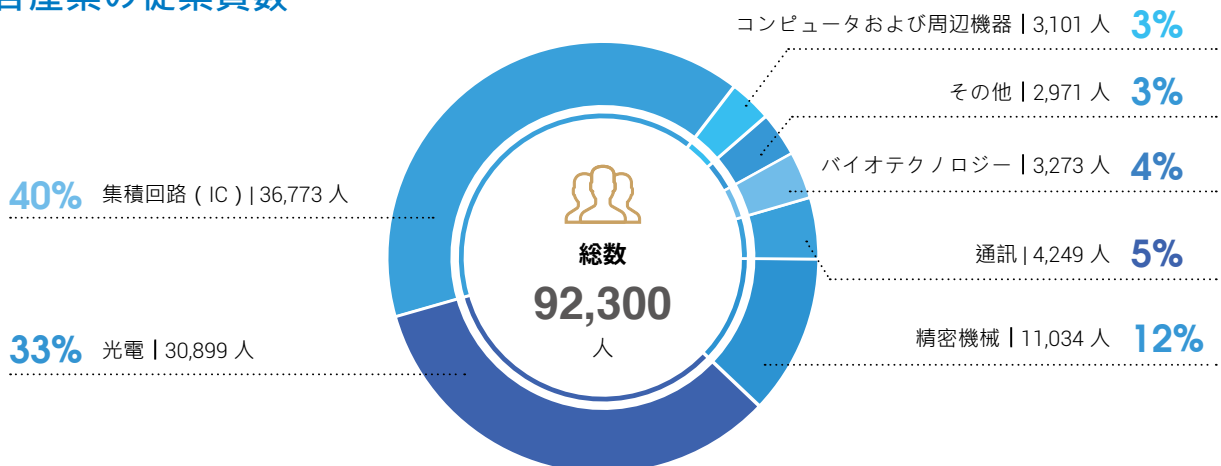
単位：人



従業員の教育レベル



各産業の従業員数



南科の各園區の運営状況

台南
園區

総面積

1,127.66 ヘクタール

2023 年売上高

15,246.88 億元

従業員数

80,860 人

承認済み企業数

148 社

貸出可能面積

531.15 ヘクタールすでに貸し出され
ている面積**529.17** ヘクタール

借地率

99.63%

台南第三期拡張工事の進捗状況

2023.6.14 都市計画 更公告と実施

2023.6.29 着工・工事安全祈願及び投資誘致活動。サイエンスパークの公共工事着工と同時に企業も工場建設を開始

高雄
園區

総面積

566.98 ヘクタール

2023 年売上高

608.12 億元

従業員数

11,440 人

承認済み企業数

103 社

貸出可能面積

236.90 ヘクタールすでに貸し出され
ている面積**234.46** ヘクタール

借地率

98.97%

橋頭園區 (開発中)

総面積

262.39 ヘクタール



承認済み企業数

18 社

進捗状況

- 2023.6.10 華騰国際が橋頭園區の企業として最初に施工を開始
- 2023.8.1 高科実験中学準備処を設立
- 2023.11.3 橋頭デジタルイノベーション複合ビル群の起工式

嘉義園區 (開発中)

総面積

88 ヘクタール



承認済み企業数

2 社

進捗状況

- 2023.2.22 環境影響審議承認
- 2023.5.19 開発計画及び細部計画を内政部が認可
- 2023.5.22 着工・工事安全祈願及び投資誘致活動。サイエンスパークの公共工事着工と同時に企業も工場建設を開始

屏東園區 (開発中)

総面積

73.83 ヘクタール



承認済み企業数

2 社

進捗状況

- 2023.2.22 環境影響審議承認
- 2023.5.19 開発計画及び細部計画を内政部が認可
- 2023.5.19 着工・工事安全祈願及び投資誘致活動。サイエンスパークの公共工事着工と同時に企業も工場建設を開始

楠梓園區 (設立準備中)

総面積

175.3 ヘクタール

進捗状況

2023.7.14 行政院が設立準備計画を承認

企業誘致 産業クラスター完備

投資のハイライト 産業イノベーション

2023年、南科は産業クラスターの発展と数多くの企業の誘致を実現しました。新たに20社もの企業を誘致し、総額301.69億元の投資が行われました。それらの中でも、それらの中に3社は集積回路関連企業で、その投資額は180.56億元にも上りました。また、バイオテクノロジー関連企業も1社誘致され、投資額は43.28億元となりました。これらの成果は非常に注目を浴びたことは言うまでもありません。さらに、増資を実施した企業も11社ありました。そのうち2社は集積回路関連であり、37.12億元の追加投資がなされ、拡張が行われました。これにより南科は、集積回路の最先端製造プロセスにおける重要な基地としての地位を確固たるものにしました。

産業クラスターの発展と企業新規誘致



集積回路産業クラスター

南科は集積回路産業クラスターが完備し、台湾積体電路製造、聯華電子(UMC)等の主要大手メーカーが最先端製造プロセスに投資し続けていることで、サプライチェーン川上のIC設計、材料、設備、部品及び川下のパッケージング・テスト等の企業が入居しています。将来、AI、高性能コンピューティング、カーエレクトロニクス等の産業のニーズを受けてドイツのメルク(Merck)、アメリカのラムリサーチ、日本の東京エレクトロン及び日本の三井化学東セロ株式会社等の外国企業が南科でさらなる投資を行います。2023年は、聯詠、荷蘭商インテグリス、盛新材料等の企業を新たに誘致し、投資額は180.56億元になりました。

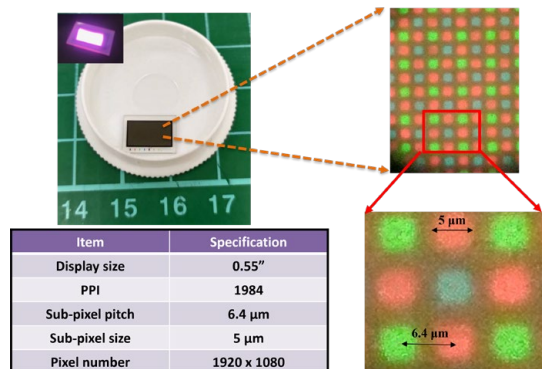


日系企業三井化学東セロ株式会社の高雄新工場は半導体製造プロセス用粘着テープの生産能力を大幅に増大させました



光電産業クラスター

南科は国内で最も完璧にパネル産業の垂直統合を実現したクラスターで、川上の重要コンポーネントであるガラス基板、液晶材料、タッチスクリーン液晶ディスプレイ、バックライトフィルムとプリズムシート、偏光フィルム、マスク、バックライトモジュールから川中のパネル、川下の液晶テレビ等のメーカーまで網羅し、ハイエンドIT、産業用制御システム、自動車及び医療用等のニッチ製品への転換に積極的に取り組んでいます。このほか、気候変動及びカーボン・ネットゼロ動向への対応として、グリーンテクノロジー産業推進の要地として、クリーンエネルギー供給、スマート省エネシステム、エネルギー貯蔵応用等の企業を誘致しています。2023年は、達興材料、誠美材料、台湾奈晶、儲盈電池、氫豊緑能等の企業を誘致し、投資額は19.2億元に上りました。



台湾奈晶が画素わずか5μmの量子ドットカラーフィルター製品を開発

精密機械産業クラスター

南科の精密機械産業は、自動化や検査等の設備を生産し、サイエンスパーク内外の集積回路及び光電子等の産業の生産能力強化を支援しており、国内外の設備メーカーが入居して独特な産業チェーンを形成しています。2023年は、高力、新代、家碩、碓基、鴻躉、璿元、芋達等の企業を誘致し、投資額は34.3億円になりました。



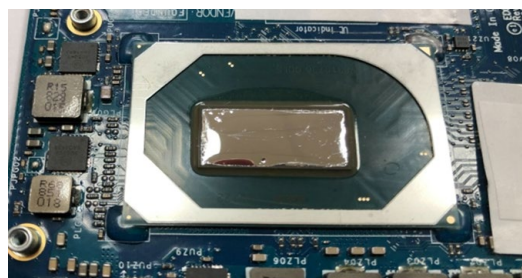
鴻躉社が2023台湾イノベーション技術博覧会で未来技術賞を受賞

バイオテクノロジー産業クラスター

南科のバイオテクノロジー産業は、ワクチン、製薬、検査試薬、歯科、整形外科、美容医療とICT通信産業およびBIOバイオ医療産業双方の優位性を結合し、医療、電子通信、テクノロジー、バイオ製薬、医療機器などの分野を横断したプレジジョン・ヘルスケア産業チェーンを形成しています。2023年は、聚和社を誘致し、投資額は43.28億円となりました。

コンピュータおよび周辺機器産業クラスター

南科のコンピュータおよび周辺機器産業は、メタバース、仮想現実の統合応用、クラウドコンピューティングのめざましい発展にともない、緯穎、鵬鼎、鈺邦、亜達、智崑等、ソフトウェアとハードウェアの統合を行う企業が相次いでサイエンスパークに進出しています。2023年は、鈺邦、広和、宇農等の企業を誘致し、投資額は24億円に達しました。



非常に高い熱伝導性及び安定性を特長とする宇農社の「超高性能液体金属」

通信産業クラスター

南科の通信産業では、現在智邦、華新科、聯亜光、全訊、啓碁、宏捷、統新、巨頻等の企業が入居しています。AI、5G、IoT、エッジコンピューティング等の新興技術が発展し、インフラが完備してネットワークの帯域幅がグレードアップするにともない、電信サービスとデータセンター市場のニーズが増加し、関連企業がサイエンスパークに入居しました。2023年は、鈺登社を誘致し、投資額は0.35億円となりました。

世界の資金を導入 半導体産業がさらにグレードアップ

メルク (Merck) が半導体資源を獲得 先端材料の発展に注力

「メルク高雄半導体サイエンスパーク」は、メルク (Merck) が海外に初めて設置する約15ヘクタールの大規模半導体材料サイエンスパークであり、最先端製造プロセス中の薄膜、パターンニング、特殊ガス等の製品ラインの導入を計画しています。新しい工場及び生産ラインは2025年に相次いで完成する予定で、高雄園區で400を超過する雇用機会を創出し、南科半導体産業ベルトにより多くの発展の契機をもたらすと見込んでいます。



2023.2.8メルク高雄半導体サイエンスパーク起工式来賓と集合写真

インテグリスがサステナビリティ推進 トップメーカーが世界をリード

2023年5月10日にインテグリスの南科高雄工場の落成式が行われました。工場から最先端半導体製造プロセスに必要な材料を提供します。敷地面積は約54,000平方メートルで、約580の就業機会を創出し、アジア地区の製品供給効率を向上させると見込んでいます。このほか、環境サステナビリティを実践するために、新工場の経営と設計を2030年CSRのサステナビリティの目標と一致させ、2030年までに「100%再生可能エネルギーによる電力の使用」の目標を達成し、未来のネットゼロ、グリーン、サステナビリティに寄与したいと考えています。



2023.5.10 インテグリス高雄最先端製造工場区運営開始を来賓と共に祝賀

新応材社高雄二期工場着工 半導体の完全エコ対応

新応材社は、生産能力を増大するために、20億円を投じて二期工場を建設しています。2023年7月10日に南科高雄工場二期起工式を行い、新技術と当地の研究開発、製造等における優位性を結合し、半導体フォトリソグラフィ用材料の自主開発に取り組み、顧客のニーズに合う先見性のある新材料を開発します。年間60億円の生産額を創出し、産業の靱性を強化し、産業クラスターの発展を促進することで、台湾南部のハイテク産業チェーンがさらに万全なものになると見込んでいます。

環境対応半導体のパートナー 瀧能株式会社南科工場の落成

新応材社は、生産能力を増大するために、20億円を投じて二期工場を建設しています。2023年7月10日に南科高雄工場二期起工式を行い、新技術と当地の研究開発、製造等における優位性を結合し、半導体フォトリソグラフィ用材料の自主開発に取り組み、顧客のニーズに合う先見性のある新材料を開発します。年間60億円の生産額を創出し、産業の靱性を強化し、産業クラスターの発展を促進することで、台湾南部のハイテク産業チェーンがさらに万全なものになると見込んでいます。

半導体産業の先鋒部隊 台湾バルカー社完成記念

国内外の事業拡大に対応するために、台湾バルカー社が2020年に高雄園區で建設を開始した南科支社が2021年10月に完成しました。新型コロナウイルス感染拡大に対応し、2023年になってから2周年記念式を開催しました。当社は半導体最先端製造プロセスに必要な化学品用タンクを生産します。国を支える半導体産業群の先鋒部隊として、今後も環境技術を発展させ、半導体産業の品質向上のために貢献します。

(右)2023.10.6 台湾バルカー社落成式で木槌で酒樽のふたを割って幸福を祈願



2023.7.10 南科高雄工場二期起工式に来賓も出席



2023.7.26 瀧能株式会社南科工場の落成・開設式、テープカットに来賓も出席



Chapter2

新しいチャンスを創る 活水を注ぎ込む

ハイテクコリドー 多様な園區を設置

南風の力がほとばしる 三期の局面を切り開く

2023年6月29日、国家科学及び技術委員会は台南市政府と共に、「台南園區三期着工・安全祈願及び投資誘致イベント」を開催し、賴清徳副総統及びその他産官学研の代表及び工場建設を希望する企業8社の代表を招待し、共に台南園區三期建設の着工に立ち会いました。賴清徳副総統は、南科の国内ハイテク産業の発展に対する貢献を賞賛し、今後も台湾の投資環境を改善してゆくと述べました。将来、台南園區三期は、半導体産業を中核としてスマート機械及びプレジジョン・ヘルスケア等の産業を推進し、4,900の雇用機会、年392億元の生産額を創出すると見込みます。



(左) 2023.6.29 台南園區三期起工式、来賓と共に金の鋏を手安全祈願

(右) 2023.6.29 台南園區三期着工・安全祈願及び投資誘致イベントに来賓が出席

橋頭園區の多元なサービス デジタルイノベーション複合ビル群着工

南科の企業の事務サービス及びビジネスサービス等のニーズを満たすために、橋頭園區デジタルイノベーション複合ビル群の建設を計画しました。すでに相次いで各開発工事を展開し、2023年11月3日に起工式を開催しました。ビルの建物はビジネス空間、標準工場事務所、スタートアップ育成オフィス、デジタルイノベーション空間、銀行、託児センター等を含む複合式空間として計画しました。将来はデジタル技術を開発するスタートアップを誘致して国家のソフトパワーを養うと同時に、南科の企業の仕事と生活のニーズも配慮します。



橋頭園區イノベーション複合ビル群模型図



2023.11.3 橋頭園區イノベーション複合ビル群工事安全祈願式

嘉義園區着工と投資誘致 ハイテクコリドーさらに延長

国家科学及び技術委員会と嘉義県政府は2023年5月22日に共同で「嘉義園區起工・安全祈願及び投資誘致イベント」を開催しました。嘉義園區は既存の嘉義県地方自治区、高速鉄道嘉義駅及び故宮博物院南院をつなげ、完備した生活機能により、優秀な人材を大勢引き寄せ、嘉義のビジネスチャンスを開拓することで、年間380億元の生産額及び5,700の雇用機会を創出すると見込んでいます。



2023.5.22 行政院陳建仁院長と嘉義園區起工式の来賓の集合写真



2023.5.22 大勢の来賓が嘉義園區起工式で安全祈願

屏東園區の産業リニューアル 国境の南に新たな局面を

2023年5月19日、国家科学及び技術委員会と屏東県政府は共同で「屏東園區着工・安全祈願及び投資誘致イベント」を開催し、投資の可能性がある企業4社と共に安全祈願・起工式を執り行いました。将来は、經濟部ハイテク産業パーク、高速鉄道屏東駅、屏科実験中学、スポーツレジャーパーク等の重大建設と連結することでサイエンスパークの生活機能を完備し、企業と人材を誘致し、屏東の地方産業の転換と高度化を誘導し、年間360億元の生産額を創出し、5,400の雇用機会を提供すると見込んでいます。



2023.5.19 屏東園區着工・安全祈願及び投資誘致イベントに来賓が出席

半導体サプライチェーンを誘導 楠梓園區の新しい機会を再び創造

将来を見据えた半導体の発展を計画し、台湾半導体産業の競争における優位性を強化するために、2023年7月、行政院は楠梓園區設立準備計画を承認しました。将来は、半導体サプライチェーン及びサイエンスパークの六大産業を基礎とする他の新興技術産業を導入し、年間約4,500億元の生産額及び4,500の雇用機会を創出すると見込んでいます。

実験中学新設

嘉義園區運営開始 実験中学校舎建設スタート

嘉義園區の発展と投資誘致に呼応する嘉科実験中学は、科学の実現、よいサービス、文化の魅力を促進することを運営理念とし、ディープラーニングのための新しい教授法 NPDL の国際組織加入を教師に呼びかけ、グローバル化に対応するカリキュラムを編成しています。2024年に生徒募集を開始し、普通高校部、中学部、小学部の生徒を受け入れます。バイリンガル部も同時に設立し、有資格の外国人教師を招聘します。また校舎は2026、2027年に第一、二期校舎がそれぞれ完成する予定です。嘉義の国際教育に新しい風を吹き込み、グローバル人材育成の模範となる高等学校を創造することを願っています。



嘉科実験中学校舎模型図

屏東園區運営開始 実験中学校舎建設スタート

屏東園區の投資誘致の利を考慮し、屏科実験中学はハイテク、国際、文化の全面から新しい時代の人材を育成し、さらに探究力を養い、新しいカリキュラムによる活力を屏東に注ぎ込みます。校内ではグローバル化に対応する様々なカリキュラムを用意し、教師育成コースも相互に組み入れています。2024年に普通高校部、中学部、小学部の生徒を受け入れ、屏東の国際化カリキュラムの資源を豊富にするために、バイリンガル部も同時に設置します。2026、2027年に、屏東の理想的なサステナビリティ教育の基地となる第一、二期校舎がそれぞれ完成する予定です。



屏科実験中学校舎模型図

高科実験中学準備処設立

高科実験中学設立案は、2023年5月に教育部に承認され、同年8月1日に準備処が設立され、2日に開設式が開催されました。国家科学及び技術委員会の陳宗権副主席、高雄市陳其邁市長、教育部国民及び就学前教育署の戴淑芬副署長、南部サイエンスパーク管理局の蘇振綱局長、準備処の楊雅妃主任、同業協会南科オフィスの郭春暉処長、邱志偉立法委員が出席しました。2025年に中学部、小学部から生徒募集を開始する予定です。



2023.8.2 高科実験中学準備処開設式集合写真

新興技術 産業のエネルギーを蓄積

ハイテク研究 x バイオ医学 異業種技術提携

南科の企業の異業種技術提携を激励し、学界の研究開発能力を連結し、共同で新興技術の研究開発に取り組むために、2023年度「南部サイエンスパーク新興技術応用プラン」により、補助案7件について金額3,485万円の補助を実施し、企業に5,295万円の研究開発費投資を呼びかけました。計画終了後3年で売上高約5.5億円を実現することを見込んでいます。

「2023台湾医療科技展」において、国家科学及び技術委員会新竹、中部、南部サイエンスパーク3つのサイエンスパーク管理局が協力し、2023年11月30日から12月3日まで、南港展覽館に「サイエンスパークパビリオン」を設置しました。本見本市は南科のバイオ医療企業18社が参加し、テーマの「精密医療」に合わせて精密検査、スマート医療、再生医学、バイオ製薬等の製品を展示し、高精度な診断、治療、介護、予防等各方面の発展における南科の豊かな成果を存分に披露しました。



2023.11.30 台湾医療科技展「サイエンスパークパビリオン」開幕



2023.11.30 南科の企業が成果を共有

訓練 x 育成 従業員の職能を強化

2022学年度「サイエンスパーク人材育成補助計画」は、ハイテク産業の将来の人材を育成するもので、学生81名が南科の企業26社に赴いて企業実習を行いました。本計画の指導により、学生が合格して資格証199枚を取得し、産学連携案16件が実現し、育成した学生のべ925人のうち23人が引き続き採用されました。職能育成方面では、南科の企業88社の従業員の専門技術強化に協力し、専門人材訓練コースを49種類開設し、自動化指導を8回実施し、従業員のべ1,969人を訓練しました。

新設サイエンスパークの専門人員を蓄えるために、2023年に新設サイエンスパークの南部の大学・専門学校に宇宙航空及びグリーンマテリアル等、8種類の予備人材訓練コースを開設し、学生のべ480人が受講しました。未来の産業人材として、学生に就業前に産業の動向を把握させています。

(右) 2023.11.11「ロケットおじさん」呉宗信主任が航空産業発展のビジョンを紹介



2023.6.5 学生イノラックス社南科工場を参観



2023.11.11 航空技術産業コース修了式



創業工房十年一剣を磨く FITI 計画のすばらしい実績

2023年「成功大学ゲノム医学センター」が、icONE スマート優良胚予測システムを開発しました。独自の生命情報分析と AI を組み合わせ、予測精度 92% を実現し、起業傑出賞を受賞しました。また、「天然植物産品開発団隊」、「氧立方」、「炭匯厨理」、「Tricuss 十論科技」、「Vasscan」の 5 組の企業が起業潜在力賞を受賞し、創業工房の育成 10 年の努力が実を結びました。



(左) 2023.6.30、(右) 2023.12.1 南科のスタートアップ指導が、国家科学及び技術委員会 FITI 計画授賞式で大賞を受賞

南科 AI_ROBOT 自造基地 低炭素及びスマート化ソリューション確立

南科 AI_ROBOT 自造基地は、スタートアップが開発した自動制御モジュールを搭載したスマート監視システム SMB を自主開発し、5G と暗号化により産業の情報セキュリティを確保し、機器の故障率及び労働力不足の問題を低減しました。さらに、外部の大手企業と連携して中小企業を指導することで、共通技術を固定具業に導入し、国内外の顧客の低炭素製品に対する信頼を確立しています。

出展と交流 グローバルな盟友関係

2023 国際半導体展

南台湾ハイテクコリドーをたくましく成長させてゆくために、中佑、立創光電、宇川、台湾阿美特克、皇亮、統新光訊、棕茂、鑫科、正鉑雷射、克瑪里、建佳、律勝、台湾気凝膠の 13 社の企業を率いて 2023 国際半導体展に参加し、南科の製造及び設備部品領域における強固な実力を示しました。



(左) 2023.9.6 南部サイエンスパーク管理局蘇振綱局長と出展企業の全員集合写真、(右) 2023.9.6 ドイツ経済事務所が南科のパビリオンを訪問

アジアバイオテクノロジーエキスポ (BIO Asia-Taiwan 2023)

台湾のバイオ医療産業コリドーの発展と連結するために、南科の頂正、立創、俊質、統新、創牲、濟陞、大員、徳英、皇亮、思創、克瑪里、訊聯の12社に呼びかけて「アジアバイオテクノロジーエキスポ (BIO Asia-Taiwan 2023)」に参加し、新竹サイエンスパーク、CTSP、計測科学センター等の機関と合同でサイエンスパークパビリオンを設置しました。さらに、嘉義、台南、高雄、屏東の産学研医の研究開発能力を統合してプレシジョン・ヘルスケア産業に注いでいます。



2023.7.27 出展企業の俊質社が国家科学及び技術委員会陳儀莊副主席に独自のSAA検査の技術を紹介



2023.7.27 国家科学及び技術委員会陳儀莊副主席がサイエンスパークパビリオンご来臨、全企業に喝采

科学技術研究交流 国際親善

2023年の国内外からの訪問団は74団体、のべ1,319人で、リトアニア、カナダ、中国信託商業銀行、メルク (Merck) 半導体、オーストラリア駐台事務所、アメリカ労働者行政官協会、外交部、AIT等の来賓代表及びパラグアイ共和国衆議院、日本北九州市産業経済局、メキシコ経済部、台南建築新世代等の重要な訪問団が含まれます。



(左) 2023.2.7 リトアニアの教育科学及び体育部次長一行が南科を訪問、(右) 2023.11.1 アメリカ労働者行政官協会の訪問団一行が南科を訪問

国際サイエンスパーク協会ルクセンブルク年会

蘇振綱局長は、2023年9月9日から17日まで、訪問団を率いて渡欧し、国際サイエンスパーク協会ルクセンブルク年会に出席しました。55か国からの参加者が年会のテーマである「イノベーションエコシステムの世界動向：サイエンスパーク及びイノベーションパークへの影響」に沿ったケースを提示し、施政の参考として、今後サイエンスパークが直面すると思われる課題について検討しました。この度はベルギーのゲントサイエンスパーク（Tech Lane Ghent Science Park）も参観し、ベルギールクセンブルク省の経済発展機構 IDELUX と交流し、さらにドイツのシュトゥットガルト空港の自動運転車用駐車場を参観しました。交流中、国外のサイエンスパークの革新措置について理解を深めました。訪問団も代表から訪問先に南科について紹介し、半導体産業を土台とし、Beyond 5G 次世代通信技術、低軌道衛星等の領域に向かって邁進していると説明しました。



2023.9.13 今回のルクセンブルク年会は3つの園区管理局が共に出席

世界のハイテクの脈動を掌握 英仏で投資誘致と南科 PR

蘇振綱局長は訪問団を率い、投資誘致のためにイギリス、フランスへ赴きました。イギリス企業 Oxford Instruments、IQE とフランス企業 Schneider Electric の本部、Paris-Saclay サイエンスパーク管理機構を訪問したほか、世界のハイテクの脈動を掌握し、南科の産業の成長を促進するために、ハイテク見本市の指標である London Tech Week と Viva Technology にも参加しました。



（左）2023.6.12 南部サイエンスパーク管理局蘇振綱局長が訪問団を率いてイギリス企業 IQE を訪問、（右）2023.6.16 訪問団がフランス Viva Technology の TTA のブースを訪問



スタートアップがイスラエルから学ぶ 国境を越えた技術交流

世界のスタートアップのエコシステムを理解するために、新竹、中部、南部の3つサイエンスパークの管理局は、2023年5月6日から14日までイスラエルを視察訪問しました。この度はイノベーション・科学技術省、イノベーション庁、環境保護省等の官庁及びベングリオン大学の BGN テクノロジーズと Mobileye、Chain Reaction 社を訪問し、スタートアップ推進の運営体制について学び、サイエンスパークの産業転換、スタートアップの研究開発促進の参考として成功例について理解しました。



2023.5.8 Mobileye 社を参観



Chapter3

盤石を守る 根底を固める

労働安全を優先 働きやすい職場作り

新しいリアリティ技術 労働安全教育のさらなるグレードアップ

労働部職業安全衛生署と協力し、ハイテクを駆使し、VR、AR、MR、AIoT等の先進技術により、屋上、足場、航空作業車、化学品、フォークリフト、閉鎖空間、吊り籠等の高リスクな作業をシミュレートし、安全な環境での没入型体験が可能な研修を提供し、職場の危害識別に関する知能を向上し、労働災害の発生を防止しています。2023年は共同で研修を132回実施し、のべ3,460人が参加しました。学校、公的機関もグループで18回、のべ437人参加しました。



(左) 2023.6.28 台北市労働検査処が XR フィールドを参観、(右) 2023.4.14 労働部と国家科学及び技術委員会が XR フィールド提携宣言を締結

防災救助システム サイエンスパーク定期巡回・保護



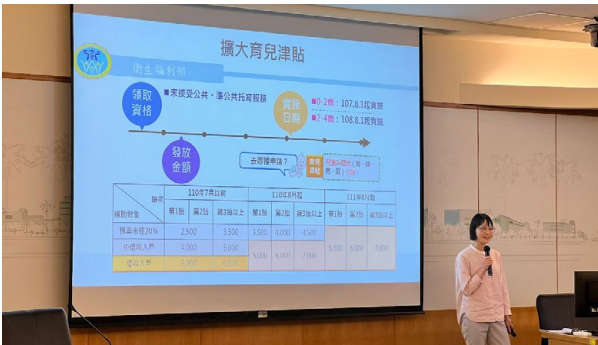
南科地震警報及びスマート防災救助システム、統合、視覚化した防災系統図

スマート防災救助システムを確立し、GISシステム(地理情報システム)に企業の建物を組み入れて表示し、さらに全ての化学品保管庫の分布と位置、フロアを1つのシステムにまとめたものを、地方の消防機関、環境保護機関と共有し、消防、環境保護機関との定期合同検査及び訓練により情報を確認し、資料の正確性を確保し、救助隊員の安全を保障します。

働きやすい職場作り 心を一つにして南科の栄誉を獲得

2023年は研修会を4回開催して働きやすい職場の普及に取り組みました。事業組織の職場におけるジェンダー平等の実践、労使調和の促進への協力として、専門家による性別平等工作法に関する講義及び職場におけるセクシャルハラスメントの事例分析を行いました。上級管理職80を含め、計201人が参加しました。

2023年5月6日、「2023年度優良従業員」として61名を選出し、表彰しました。また、「2022年度職場におけるジェンダー平等推進」優良企業として啓碁、住華、瀚宇彩晶、台湾賽諾世の4社を表彰しました。著名なチェリストの張正傑氏に演奏を依頼し、南科のために音楽会を開催し、労資関係の調和を促進しました。



(左) 2023.5.23 職場託児サービス説明会、(右) 2023.5.6 サイエンスパーク優良従業員表彰式にチェリスト張正傑氏等を招待して音楽会を開催

政府民間が育児に協力 託児特優賞を受賞



聯苑の従業員の子供達のための非営利幼稚園が行政院人事行政総処の「2023年公的機関の設立準備による職場託児施設評定」で、37の機関(機構)から幼稚園部門特優賞に選ばれました。当園は国内で初めて公的機関、民間企業、非営利組織が共同で設置した幼稚園であり、聯華電子(UMC)が用地を無償で提供し、南部サイエンスパーク管理局が財団法人彭婉如文教基金会に経営を委託し、2022年10月17日にサービスを開始しました。現在160人を受け入れ、満足度が4.8点に達しており(5点満点)、従業員に高品質な託児サービスを提供し、常に好評を得ています。

(左) 聯苑の従業員の子供達のための非営利幼稚園が2023年公的機関の設立準備による職場託児施設評定の「幼稚園部門特優賞」を受賞



(左) 2023.12.19 人事行政総処蘇俊崇人事長がトロフィーを授与、鄭秀絨副局長が代表で受領、(右) 聯苑幼稚園指導中の写真

労働安全衛生及び環境保護月間 災害防止と環境教育能力を向上

サイエンスパークの労働安全衛生と環境教育の機能を強化するために、イベントを実施し、環境教育、健康促進、緊急対応等の方面の訓練を実施しました。また、生産額増大並びに安全衛生と環境保護業務との両立に取り組むサイエンスパークの産業への感謝として、「労働安全衛生表彰及び交流パーティー」と「労働安全衛生及び環境保護月間優良環境安全衛生機関及び人員表彰と講演」を開催しました。また、サイエンスパークの目標である環境安全衛生の長期継続を目指し、特別に消防安全の専門家による講演「ESGの動向を背景とし、ハイテク企業はいかに消防安全管理及びガバナンス行為を強化するか」の実施を企画し、多元且つ豊富な方式で南科の企業を啓発しました。



2023.11.10 労働安全衛生及び環境保護月間イベント台南園區緊急対応訓練



2023.10.24 労働安全衛生及び環境保護月間優良環境安全衛生機関及び人員表彰

労働安全衛生促進効果大 労働検査の業績評価優良

南科労働検査センターは監督検査業務の運用及び実施範囲を充実させ、ESGを段階的に事業組織に普及させ、XRフィールドを各機関の参観、学習のために公開することで労災事故の防止に貢献し、2023年、年間実績が労働部から「優等」の評価を獲得し、労働安全の維持に全力を尽くしています。



(左) 2023.3.14 労働検査業績評価優等賞の賞品、(右) 2023.3.14 労働部李俊俔次長から南科に労働検査業績評価優等賞の賞品を授与

園区の機能を改善 運営の安全性を保護

2023年のサイエンスパーク一斉点検では、南部サイエンスパーク管理局が3つのサイエンスパークを代表して全体の一斉点検実施の経緯と方法を説明し、さらに環境管理、化学品管理、地下水管理、労働安全衛生、温室効果ガス、持続可能な発展等の側面の推進結果を共有し、環境保護教材の静態展示を組み合わせ、サイエンスパークの革新性、包括性、持続可能性における成果を示しました。このほか、労働部の「南科旧正月前後の安全強化宣伝会」に合わせ、検査、宣伝、指導等の措置を強化し、事業組織の各防災体制の実践を促進し、さらにサイエンスパークで直近3年間に多く見られた労働検査の不備及び労災事件の原因分析と改善提案を提出し、災いの未然防止を呼びかけました。

2023年は国内でデング熱感染拡大が深刻化し、積極的に感染拡大対策会議に出席し、サイエンスパーク防疫講座及び防疫担当者訓練コースを実施しました。さらに、防疫作業の実施状況を監督指導し、南科内のデング熱感染のリスクを低減するため、蚊対策及び衛生教育の強化を企業に呼びかけました。



(左) 2023.1.6 旧正月前後の安全強化宣伝会での共有、(右) 2023.6.20 サイエンスパーク一斉点検(環境保護と労働安全衛生)調査結果発表会での集合写真

産学サービス拡大 多元な人材マッチング

2023年はマッチング交流イベントを10回開催し、南科の企業63社及び大学・専門学校54校が共に参加しました。10月18日、文藻大学が女性技術者イベントを開催し、台湾応用材料(Applied Materials Taiwan)及びASML社の女性主任が文系の女性、理工系以外の方がハイテク産業に就業する場合の学習と思考の過程及びキャリア開発経験を共有しました。10月25日、初めて北上し、陽明交通大学で北部青年Uターン人材マッチングイベントを開催し、北部の人材を招致しました。



2023.11.25 北部青年Uターン人材マッチングイベントの集合写真



2023.3.18 南科リクルートイベント台南会場の集合写真

労働力不足及び失業の問題の解決を図り、2023年3月18日と8月19日に、それぞれ台南市政府及び高雄市政府が就職フェアを開催しました。台湾積体回路製造、緯穎、直得、艾爾斯、前瞻能源、茂迪、台湾穂高、聯華電子(UMC)、啓碁、鵬鼎、川益、万潤、華新、榮眾、生合生物、晟田等、南科の企業16社が集まり、1,506の求人を提示しました。現場では、即時面接試験以外に、求職者のためのCPAS職業適性検査も実施しました。

サービス業者 インフラ改善

サイエンスパーク周辺の外部連絡道路工事完了

東側：「南 137 拡幅工事」が完了し、2023 年 11 月 24 日に開通しました。開通後、台 19 甲の渋滞が解消され、東側のサイエンスパーク進入及び南科実験中学通勤の車両を分散することで、運転時間が約 5 分短縮されました。

南側：「新港社大道方向転換工事」この工事はすでに検収段階に入っており、2024 年 2 月末の開通後は国道 8 号と南科を結ぶ連絡道路への出入りがスムーズになり、南側のサイエンスパーク出入りの時間が約 2 分短縮されると見込みます。



南 137 拡幅工事現場写真



新港社大道方向転換工事現場写真



台南園區第六配水池工事完了

台南園區第 6 配水池完成写真

台南園區の平均用水量の増加に対応する台南園區二期基地の第 6 配水池が 2023 年 10 月 17 日に完成しました。配水池は南科九路と三抱竹路の交差場所の公 26 用地に位置します。設計容量は 4.5 万立方メートルで、完成後は南科の企業の最先端製造プロセスに必要な 1 日平均 7.5 万 CMD を確保し、最高 1 日 9 万 CMD の給水が可能で、第 4 及び第 5 配水池相互の予備として使用することができます。

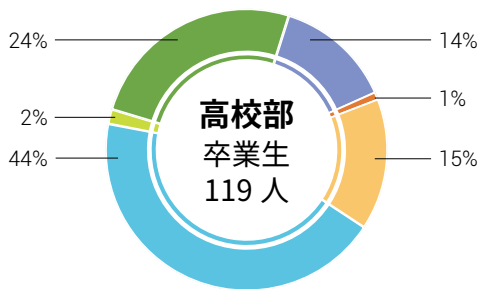
南科実験中学 優良な運営実績

めざましい高校部と中学部の合格率

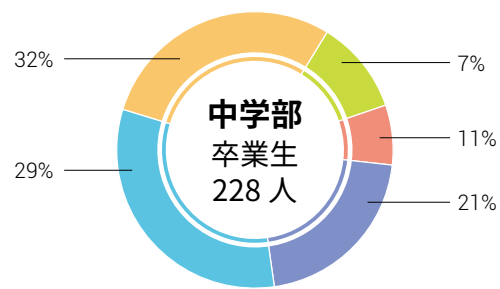
2023年南科実験中学高校部の大学入試合格者の内訳は、医学部が1人、台湾清華大学、成功大学、交通大学が16人、国立中央大学、国立中正大学、国立中山大学、国立中興大学が18人、国立大学及び医学関連学部が87人、海外留学が2人です。中学部の合格者は、南科実験中学、国立台南第一高等学校、国立台南女子高等学校が29%で、その他の公立高校が32%、公立情報・工業、商業高校が21%、高等専門学校・軍事学校が7%、その他私立高校が11%です。バイリンガル部の卒業生は18名で、うち2割の生徒が台湾清華、中興、中央等の大学に合格し、8割の生徒がアメリカ、カナダ、ヨーロッパ等のアイビー・リーグ及びトップクラスの大学で学んでいます。



2023年の中学部合同試験の成績はすばらしく、優秀な学生が表彰されました



- 国立台湾大学、国立清華大学、国立交通大学、国立成功大学、国立政治大学
- 国立中央大学、国立中正大学、国立中山大学、国立中興大学
- その他国立大学及び医業関連学科
- 医学部
- 海外留学
- その他



- 南科実験中学、国立台南第一高等学校、国立台南女子高等学校
- 公立情報・工業・商業高校
- その他の公立高校
- 高等専門学校・軍事学校
- 私立高等学校

ロボットチームの世界進出

高校部のロボットチーム FRC6998 が世界ロボット「ヒューストン国際ロボット競技会の工業デザイン賞」、2023 FRC Monterey Bay 地区予選の「優勝聯盟」及び「工程啓発」の2つの大賞を受賞しました。中学部の FTC ロボットチームが 2023 FIRST ロボットコンテスト台湾区選抜大会で「優勝聯盟隊長賞」を受賞し、世界に異彩を放ち、科学研究教育の成果を発揮しました。



2023.4.22 高校部が 2023 FIRST 国際ロボット競技会ヒューストン大会に出場



2023.4.22 中学部 FTC チームが 2023 FIRST ロボットコンテスト台湾選抜大会に出場

スポーツ大会で雄姿を見せるスポーツマン

陸上競技チームが 2023 年度台南市中等学校合同スポーツ大会に出場し、ハンマー投中学男子部門で優勝し、大会の記録を更新しました。高校部テニスチームが 2023 年全国中等学校スポーツ大会高校男子団体部門第 4 位を獲得し、台南 2023 高校・小中学校テニス対抗試合高校団体部門で優勝しました。2023 年 Victor.ly 杯全国青少年テニス選手権大会 (A-4) - 員林 12 歳部門男子シングル準優勝、男子ダブルス準優勝、16 歳部門男子シングル優勝、16 歳部門女子ダブルス優勝。ケニアナイロビ J30 及び J60 国際青少年テニス選手権大会で女子ダブルス優勝、男子シングル準優勝、男子ダブルス準優勝、スポーツ大会での好成績が続きました。



2023.10.19 Victor.ly 国際テニス選手権大会 16 歳部門男子シングル優勝 (左一南科実験中学王彦瑋)

全国に響きわたる美しいブラスの音色

南科実験中学ブラスバンド部が 2023 年に 2022 学年度全国学生音楽コンクール小学部門、中学部門、高校部門で管楽器合奏特優に選ばれました。中学部合唱部が全国学生民謡コンクール東南アジア部門で優等に選ばれました。小学部合唱部が全国学生音楽コンクール合唱部門で特優に、全国学生民謡コンクール閩南部門で特優に選ばれ、美しい歌声が全国に知られました。



(左) 2023.11.17 2023 年度全国学生音楽コンクールで小学校の合唱部が同声合唱部門で特優、(右) 2023.11.27 2023 年度全国学生音楽コンクール管楽器合奏小学部門で特優

バイリンガル教育により国際交流を促進

2030 年バイリンガル政策に呼応し、南科実験中学とテキサス州のスタッフオード・ステム・マグネットアカデミー (Stafford STEMM Magent Academy, SSMA) は姉妹校を締結し、積極的に国際交流に取り組んでいます。姉妹校であるアメリカコロンビアの小学校の教師が訪台し、小学部英語関連のカリキュラム交流と教育共備イベントに参加しました。小学部の生徒が韓国ソウルの Wonchon Elementary School とビデオ交流を行いました。三重県上野高校の教師と生徒が訪れ、高校部の生徒と科学フォーラム、物理研究、実習コースを実施しました。ブラスバンド部の夏季休暇音楽教育旅行として瀬戸内海芸術の旅を実施し、日本の指揮者井田氏に指導を依頼し、千葉県習志野市立第一中学校と音楽交流を行いました。



アメリカ、台湾の教師による共同プランニングと授業トレーニングに関する発表



ブラスバンド部の日本夏季休暇音楽教育旅行で井田氏に特別指導を依頼

Chapter4

サステナビリティの創造 自然を保留

持続可能な施政 ネットゼロ世代の展望

持続的な省エネ 質の高い南科

南部サイエンスパーク管理局は「2023 TCSA 台湾企業サステナビリティ・アワード選考イベント」に参加し、サステナビリティ報告書の最高榮譽に相当する「政府官庁持続可能な発展自主チェック報告 (VDR) プラチナ賞」及び「職場福祉リーダー賞」の2つの賞を受賞し、高く評価されました。今後も省エネと廃棄物削減、生態愛護、ジェンダー平等に関する宣伝指導、安全衛生、ガバナンス普及等の推進を目指し、サステナビリティのビジョンを実践します。

南科資源再生センターはセンター施設のエネルギー利用効率向上及び各省エネ措置推進に取り組み、經濟部の「2023 年省エネモデル賞銀賞」を受賞しました。今後も南科の事業組織の省エネ・CO2 排出削減業務を促進し、ハイテク業のビジョンである 2035「先見的イノベーション、民主と包括、長期持続する韌性」を実践します。



(左) 2023.11.15 行政院人事行政總處蘇俊榮人事長からプラチナ賞及び職場福祉リーダー賞を南部サイエンスパーク管理局に授与
(右) 2023.11.29 資源再生センターが 2023 年經濟部省エネモデル賞銀賞を受賞、蘇振綱局長が代表で賞品を受領

皆で干害に対抗 積極的な節水

2022 年 8 月 27 日から 2023 年 8 月 8 日まで、南科干害対応チームを設立し、会議を 6 回開催し、積極的に節水措置を宣伝指導しました。南科内の用水量が多い企業を対象とし、水利署の節水標準 5% から 8% への引き上げ目標に合わせたメーター調査を展開し、さらに再生水を優先的に使用し、再生水使用量 4.92 万 CMD を達成し、見事水不足の危機を乗り越えました。2023 年、永康、安平、サイエンスパークの再生水供給量が最高で台南園區用水量の 2 割に相当する 5.8 万トン/日に達し、干ばつ期間の水道水の必要が減少し、安定的に地域に水を供給しました。



(左) 2023.2.14 南科干害対応チームの 2023 年上半期第 1 回水資源状況会議
(右) 2023.5.12 国家科学及び技術委員会陳宗權副主席が南科再生水工場を訪問

創エネ、蓄エネ、省エネを同時に配慮

2023 年、南科に 10.05MW の太陽光発電設備を設置しました。設備累計容量が 73.61MW に達し、年 CO2e 排出量が 45,546 トン減少し、環境保護業務の効果が表れました。創エネの後の蓄エネに使用する設備は極めて重要であり、2027 年までに南科に 26,100 kWh、南科の事業に 2,000 kWh のものを構築する予定です。現在、台南園區には能元科技の 1,000 kWh のものが 1 基あり、徐々に蓄エネの目標を達成しています。このほか、2023 年は南科で省エネ指導を 6 回実施しました。年間節電量が 1 万 kwh を超過し、CO2e 排出削減量が 5 万トンを超え、省エネ・CO2 排出削減の実践により、南科の CO2 排出量を低減しました。南部サイエンスパーク管理局の事務棟も老朽化した空調システムの冷却水用主機及び監視システムを更新し、電力の利用効率を向上し、さらに Park17 に電動車用充電装置を設置し、省エネと CO2 排出削減を実践しています。

南科では政府民間が協力してネットゼロへの転換を目指しています。聯華電子 (UMC) は国家の循環型経済戦略に呼応し、Fab12A 工場内の「循環型経済資源創生センター」設置を計画し、2023 年 3 月 17 日に起工式を開催し、約 18 億元の投資により最新の成熟技術を導入しました。廃棄物量年約 1.5 万トンの減少、生産額約 1 億元に相当する再生製品約 6,000 トンの生産を実現し、自然資源採掘量が大幅に減少すると予想します。雇用者数も約 230 人増加すると見込みます。



Park17 電動車充電スタンド

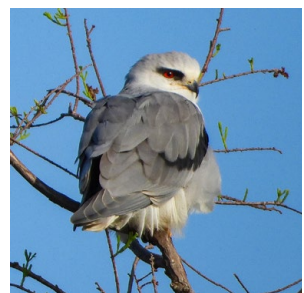
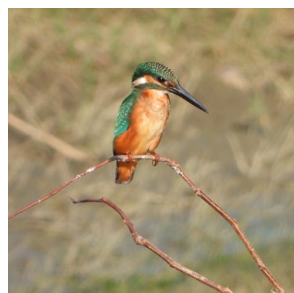
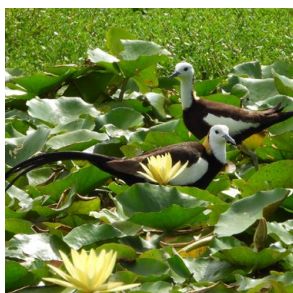


聯華電子 (UMC) の「循環型経済資源創生センター」イメージ

生態との共栄 みなぎる生命力を再現

生態にやさしい生息地を構築 多様な種の保護育成

生態保護用地で多様な種を保護育成することを計画しています。2023 年は、台南園區で鳥類 34 科 72 種、両生類 4 科 5 種、蝶類 5 科 27 種、トンボ類 3 科 20 種が観察されました。高雄園區では、鳥類 34 科 68 種、両生類 4 科 5 種、蝶類 5 科 27 種、トンボ類 3 科 19 種が観察されました。このほか、農業部が公告した保護種の鳥類では、ツバメチドリ、アカモズ、マシギ、カタグロトビ、ウライキジ、チョウゲンボウ等が、台南園區で 7 種、高雄園區で 8 種観察され、生態保護育成において卓越した成果が伺えます。



(一番左) レンカク、(左から 2 番目) ミナミツミ、(右から 2 番目) カワセミ、(一番右) カタグロトビ。
写真提供元：聯華電子 (UMC) 張炳坤副処長撮影

地域の生態を配慮 ヒガシメンフクロウの保育を推進

ヒガシメンフクロウの保護育成では、橋頭園區、嘉義園區、屏東園區それぞれの保留エリアにヒガシメンフクロウ生息地を設置し、2023年12月14日に2022年度ヒガシメンフクロウ保育推進小委員会が会議を開催し、各保護育成行為の改善及びより万全な生態環境作りに取り組みました。

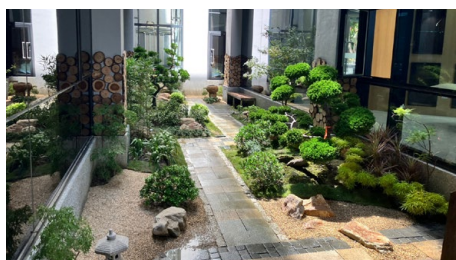
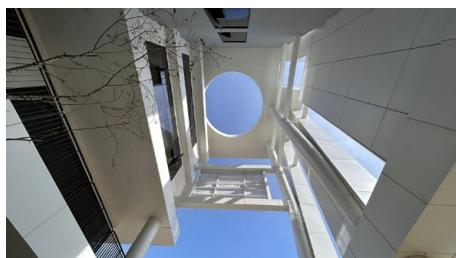


ヒガシメンフクロウ

永遠の自然 低炭素建築物の実践

省エネ可能なグリーンビルディング 南科の自然を長期維持

積極的に環境保護、省エネ、持続可能な環境を推進し、生態との共存、省エネ・廃棄物削減を実践するサイエンスパークを創造します。現在、南科では18の建物が緑の建築マーク EEWB のダイヤモンド級を取得しています。



南科で最も新しいダイヤモンドレベルのグリーンビルディング 瀧能株式会社南科新工場

建築管理実績で高評価 特優の三冠王

南部サイエンスパーク管理局は、内政部の「2023年度建築物施工管理業務評価計画」、「2023年建設業及び各種免許関連管理業務推進状況評価計画」、「2023年建物の公共安全関連業務監督指導評価計画」の3項目の実績評価で「特優」を獲得しました。将来的には、継続的に施政の質を向上させ、サイエンスパークの運営機能と安全を維持します。



(左) 2023年度建築物施工管理業務評価 - 特優

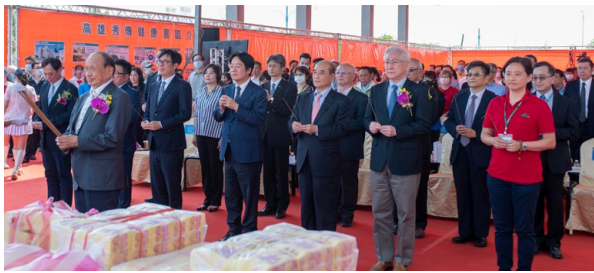
Chapter 5

楽しい南科 良質な生活

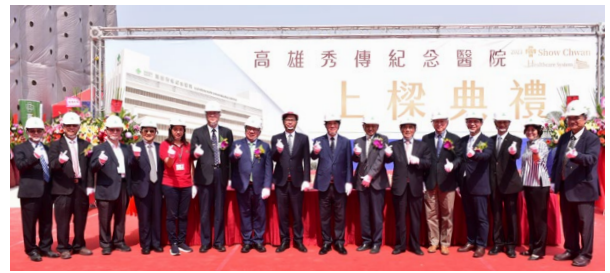
幸福な南科 健康と自然に配慮する職場

高雄園區秀伝紀念医院上棟式

2023年4月14日、高雄秀伝紀念医院の上棟式が執り行われ、頼清徳副総統、立法院の王金平前院長、国家科学及び技術委員会の呉政忠主席、秀伝医療体系の黄明和総裁、高雄市陳其邁市長等の来賓とメディアが出席しました。2024年9月に運営を開始する予定で、患者収容可能数は700床です。大型地域病院の第一号として南科に入居することで、サイエンスパークとコミュニティの共存と共栄を実現し、地域、病院、サイエンスパークにとって有益な形勢を打ち出すことを期しています。



2023.4.14 高雄秀伝紀念医院上棟式での集合写真



2023.4.14 高雄秀伝紀念医院上棟式修了後の全員集合写真

医療能力向上 奇美南科分院が入居

奇美医院が経営し、2000年に入居し、23年にわたり医療サービスを提供してきた南科聯合診所は、2023年、心臓血管内科、胃腸肝臓胆のう科、精神医学科（ストレス外来）、リハビリ科、小児科、神経内科外来診療科を増設しました。また、南科の人口と医療サービスに対するニーズの増加に対応するために、救急診療、入院、予防保健、産業医学等の経営項目の追加を申請し、外来・救急・入院を揃えた総合医療サービスを提供しています。同年8月、南部サイエンスパーク管理局に承認され、台南園區に約300床の収容が可能な奇美医院南科分院を設置しています。2029年の運営開始後は、南科、周辺地区まで医療サービスの範囲が広がります。



(左) 2023.7.12 奇美医院南科聯合診所が記者会見で南科に医療サービスを拡大することを表明
(右) 2023年5月から、奇美医院南科聯合診所が5つの診療科の医療サービスを追加



足並み揃えて健康な南科作り 戴選手対南科住人

2023年3月4日、南科の住人と家族約3千名に南科ウォーキングイベントへの参加を呼びかけ、「2023年クリスマス in 南科」関連イベントを開始しました。準備体操をして歩き出した後、コース沿いに南科の企業を集めて7か所に設置した中継点で水分とカロリーを補給することができ、南科の住民は楽しく歩き、健康作りをしました。また、南科のイメージキャラクターである戴資穎選手は、6年連続してサイエンスパークのバドミントン選手代表と試合を行い、ウォーキング、球技大会等のイベントにより、南科の企業と共同で従業員の健康を配慮し、働きやすい職場環境の創造に取り組んでいます。



(左) 2023.3.4 戴資穎選手と南科バドミントンチームによる親善試合

(右) 2023.3.4 国家科学及び技術委員会呉政忠主席が戴資穎選手に記念品を贈呈



2023.3.4 千人ウォーキング前のウォーミングアップ



2023.3.4 千人ウォーキング



豊富な育児資源 働きやすい職場作り

職場に育児のための環境を作るために、政府の保育教育及び託児サービス公共化推進政策に呼応し、託児センター公立1校、私立2校と私立幼稚園1校、企業出資の幼稚園2社を誘致し、さらに非営利幼稚園2校に委託し、計8校を設置しました。受入率は9割に達しています。政府が無償で用地を提供して一部補助することで、安価且つ良質で、広く利用でき、近くて便利で、幼児の心身の発達を考慮した託児サービスにより保護者の負担を軽減し、安心して就業できるように取り組んでいます。



幼稚園の児童の美術作品を展示、学ぶ楽しさを体験

コミュニティに根付く教育 サイエンスパーク巡礼イベント

南科コミュニティセンターの従業員の子供達及び聯苑の従業員の子供達のための非営利幼稚園の教職員にサイエンスパークの文化、環境生態を理解していただくために、2023年1月31日、台南園區でサイエンスパーク巡礼イベントを、7月26日にサイエンスパーク生態の旅イベントを実施しました。このイベントをとおして、教職員はサイエンスパークを深く理解し、コミュニティの資源とコース設計を巧みに結合することができます。また、園児はコミュニティ環境を理解し、対話することで、環境を大切にし、人を思いやる道徳心を身につけます。



(左) 2023.1.31 サイエンスパーク巡礼イベントに参加した非営利幼稚園の教職員の集合写真



(右) 2023.7.26 サイエンスパーク生態の旅イベントに参加した非営利幼稚園教職員の集合写真

聞き込み調査と校正を实践 運営体質を強化

工業事務管理の健全化及び工場の経営状況の理解を図り、2023年6月1日から7月10日まで、国内で登記済みの工場の校正及び経営に関する調査を実施しました。南科の239の工場を対象とする聞き込み調査と校正を実施し、調査結果を国家の産業発展及び工業計画の参考にしました。また、經濟部から2023年度工場校正及び経営に関する調査成績優秀機関団体賞を授与されました。

(右) 經濟部 2023 年度工場校正及び経営に関する調査成績優秀機関団体賞



快適な生活 地域文化との連結

兆を突破し最高の実績 2023 年創立記念合同イベント

2023 年南科創立記念及びグループ結婚式イベントを 2023 年 1 月 14 日に開催しました。ここ 1 年は各界の共同の努力に頼り、集積回路産業に牽引され、南科は一兆元を超える売上高を維持しました。将来も経営のピークを創造し続け、世界と競い合います。創立記念の現場には大勢の来賓が集まりました。グループ結婚式も盛大に開催し、南科のカップル 60 組が愛を誓い合い、会場は喜びの声で賑わい、幸福なムードに溢れました。イベント当日は、芸能人の郭雪芙さん、AcQUA 源少年、果凍姐姐楊晨熙、十鼓擊樂團が創立記念のショーを披露しました。園遊会や南科の企業の就職イベントも同時開催し、約 4,000 人が集ってイベントを盛りあげました。



2023.1.14 南科創立記念開会式に出席した来客の全員集合写真



2023.1.14 南科創立記念とグループ結婚イベント

晩春の芸術生活祭 春の楽しい時間を共有

2023 年「南科晩春の芸術生活祭」は、これまでの午後の音楽祭の気軽なムードを受け継ぎながら、湖畔ヨガ、共栄マーケット、DIY 体験等、多様な形態のイベントを組み合わせ、春の午後の心地よい時間を演出しました。台南園區は、群創光電、瀚宇彩晶、聯華電子 (UMC) と共に「草地講堂」イベントを実施し、楽しみながら学ぶテーマ別対話を企画しました。南科の従業員は家族と一緒に南科の自然溢れる春の時間を楽しみ、ダイバーシティ・ウェルビーイング・サステナビリティを特色とする良質な環境を体験しました。このほか、2023 年度のイベントは初めて高雄園區も含めて実施し、高雄園區の従業員と周辺住民に共に南科のすばらしさを感じていただき、コミュニティのためのサービス範囲を拡大しました。



2023.4.15 晩春の芸術生活祭 - 台南会場



2023.4.15 晩春の芸術生活祭 - 台南会場「草地講堂」イベント



2023.4.22 晩春の芸術生活祭 - 高雄会場

クリスマス in 南科 幻想的なメルヘンランド

年の瀬に当たり、台南及び高雄園區の多数の街角にきらびやかなクリスマスイルミネーションを配置し、幻想的なメルヘンランドを演出しました。2023年12月21日にサイエンスパークのパートナーと周辺住民約1000人を招待し、台南園區璞馨公園で一足先にクリスマスイブを楽しみました。夜のパーティーは、料理とクリスマスらしいデザートを用意しました。南科に配置したイルミネーションは、全て年越し後の2024年2月24日まで点灯し、新たな年の瞬間を照らします。



2023.12.21 クリスマス in 南科のパーティー

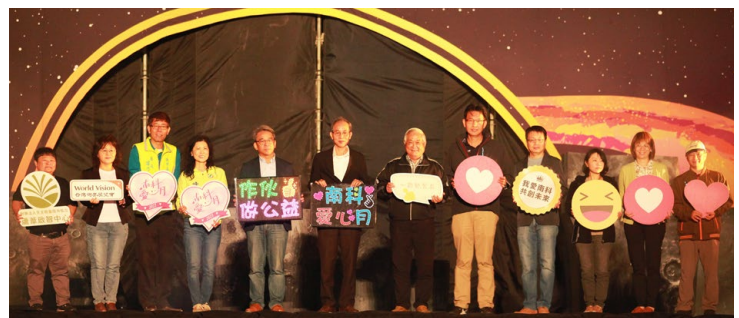


(左) 2023.12.21 南部サイエンスパーク管理局クリスマス in 南科のイルミネーション

(右) 2023.12.21 クリスマス in 南科の夜のパーティーで南科実験小学部の音楽クラブが演奏を披露

南科ラブマンス 思いやりの心で公益

2023年12月2日、「台湾世界展望会」、「財団法人天主教台南市私立芦葦啓智中心」、「台南市政府社会局」、「高雄市政府社会局」と共同で南科ラブマンスを実施し、政府と民間が協力して寄付を募り、やさしさを社会のすみずみに届けました。イベントは、大人も子供も体験を楽しみながら学べるチャリティー園遊会、ピクニックマーケット、絵本閲読、DIY体験等を盛り込み、各界の有志を招待して南科ラブマンスの精神に共感しました。



(左) 2023.12.2 南科ラブマンスで企業がブースを設置してバザーを開催、(右)2023.12.2 ラブマンスの来賓による全員集合写真

遺跡巡りで学ぶ考古 楽しさに溢れる学習

2023年、「遺跡巡りで学ぶ考古」イベントを開催しました。レザーカービング、青写真、陶芸、謎解き等の関連イベントを企画し、教育、知識、生活、興味、探索を一体にした体験イベントや講座により、南科の有史以前の文化資産に対する認識と重視を促進しました。



レザーカービングイベント



手びねり陶芸イベント



南科遺跡巡りイベント

親子イベント グリーンエネルギー教育の普及

2023年11月11日、高雄科技大学、教育部南部太陽能学校、茂迪文化芸術基金会と共同で2023年「第17回南科太陽光モデルカーファミリーチャレンジキャンプ」を開催し、フランスのパーパークラフトアーティストに新しいペーパーモデルカーのデザインを依頼し、楽しみながら学ぶ方法により、再生可能エネルギーの応用に関する知識及び省エネとCO2排出削減の理念を広めました。500名を超える親子がイベントに参加しました。



(左) 2023.11.11 第17回南科太陽光モデルカーファミリーチャレンジキャンプ」で南部サイエンスパーク管理局蘇振綱局長が挨拶、(右) 2023.11.11 ファミリーチャレンジキャンプでの全員集合写真

Chapter6

今後の展望について

南科はこれまでに半導体、光電子、医療用生体材料、精密機械の産業クラスターを構築しました。将来は、世界で最も価値が高い半導体サイエンスパークの構築をビジョンとし、世界のサプライチェーンとの連結の基礎を作り、地域経済の靱性を強化し、企業のキーテクノロジーの研究開発を指導、協力して産業転換と高度化を推進し、南科の産業クラスターの競争力を強化し、さらに環境保護の思考を導入し、技術と環境を共栄、長期発展させます。2024年の全体目標及びポイント：

- ソフト・ハードウェア統合とアプリケーション開発に有利な新しい事業を誘致し、業界業種を横断した革新及びデジタルトランスフォーメーションを激励し、地方産業のソフトウェアとハードウェアの付加価値化及び異業種連携に協力し、産業のスマート化及び高付加価値化を促進し、世界の産業バリューチェーンに参入します。さらに自然にやさし環境を構築し、地域とのつながりを強め、共存共栄が可能な生活圏を構築し、南台湾ハイテクコリドーを創造します。
- 南科の企業のイノベーション技術の研究開発を激励し、政府の「チップによる台湾の産業イノベーション駆動計画」に呼応し、ハイテク産業の進展とイノベーションを促進し、さらに各省庁の資源及び各業種の産官学研連携を統合し、台湾の優位性で世界の産業チェーンの不足部分を補い、国際市場における台湾製品の競争力を強化します。
- スマート技術により、サイエンスパークのデジタル化発展のためのソフト・ハードウェアとインフラを強化し、技術力、経営支援、産業クラスターの特色を結合し、デジタル経済転換サービスの新しいエコシステムを発展させ、産業のデジタルトランスフォーメーション及び研究開発とイノベーションのハブとして世界のハイテクと戦略産業を集結したハイエンド製造及び研究開発センターを設立し、新しい産業クラスターの構築を加速します。
- 南科の各公共建設工事及び施設メンテナンスを実施し、インフラを完備し、さらに新興技術を導入してサイエンスパークのサービスモデルを強化し続け、南科の企業及び従業員の就業環境をさらに改善します。今後も2050 ネットゼロを目指し、政府民間が協力してネットゼロ技術計画を推進し、ダイバーシティ・ウェルビーイング・サステナビリティを特色とするスマート・サイエンスパークを創造します。



Chapter 7

行事

- 1/** 04 — 2022 年南科高雄園區公共施設及び道路改善工事完了
 11 — パラグアイ共和国衆議院議長一行様ご来訪
 台湾田中電子股份有限公司オープニングセレモニー
 14 — 2023 南科創立記念兼グループ結婚式
 17 — 群創太陽光発電システム送電開始式及びスマート液晶循環抽出センター開設記者会見
 18 — 行政院蘇貞昌前院長が「屏東高速鉄道特定区及びサイエンスパーク」計画進捗を視察
- 2/** 07 — リトアニア教育科学及び体育部次長一行様ご来訪
 08 — メルク高雄半導体サイエンスパーク起工式
 10 — 2022 年南科景観改善工事が完了
 22 — 嘉義園區環境影響審議承認
 屏東園區環境影響審議承認
- 3/** 04 — 2023 年クリスマス in 南科関連イベント—千人ウォーキング及びバドミントン親善試合
 14 — 2023 年度労働検査機構年度業績評価で「優等」の評価を受ける
 17 — 聯華電子 (UMC) 循環型経済資源創生センター起工式
 18 — 「すてきな台南生活 台南で仕事探し」就職フェア—台南会場
 23 — 「南科台南園區管理サービスセンター中央空調システム機能向上工事」が完了
 29 — リトアニアのクライペダ市及びヨナヴァ市からの来賓ご来訪
- 4/** 14 — 高雄秀伝記念医院上棟式
 労働部、職業安全衛生署と国家科学及び技術委員会、南部サイエンスパーク管理局による XR フィールド提携宣言
 15 — 晩春の芸術生活祭—台南
 22 — 晩春の芸術生活祭—高雄
 24 — 南科高雄園區の配管及び付属施設機能向上工事竣工
 南科高雄園區緑 33 緑地景観工事及び雑工事 (L31 標) 完了
- 5/** 06 — サイエンスパークの優良な従業員及び職場でのジェンダー平等推進優良企業の表彰
 10 — インテグリス社高雄工場落成式
 19 — 屏東園區着工・安全祈願及び投資誘致イベント
 嘉義及び屏東園區開発計画及び細部計画のサイエンスパーク開発が内政部に許可される
 22 — 嘉義園區着工・安全祈願及び投資誘致イベント

- 6/** 10 — 華騰社の起工式
 15 — 台南園區拡張計画の都市計画公布、実施
 16-18 — イギリス、フランス等の国で投資誘致と交流、ハイテク見本市に参加
 20 — サイエンスパークー斉点検（環境保護と労働安全衛生）聞き込み調査計画成果発表会
 29 — 台南園區三期着工・安全祈願及び投資誘致イベント
- 7/** 10 — 新応材社が高雄工場二期起工式を開催
 14 — 行政院が楠梓園區設立準備計画を承認
 25 — 啓碁科技社南科新工場開幕
 26 — 瀘能株式会社南科新工場落成式
 27-30 — 南科の企業がアジアバイオテクノロジーエキスポ（BIO Asia-Taiwan 2023）に参加
- 8/** 01-02 — 国立高科実験中学準備処設立、開設式
 04 — 立新化工社の起工式
 17 — 台湾先芸の台南訓練センターが開幕
 19 — 「魅力的な高雄で働いて羽ばたく」大規模現場就職イベント - 高雄会場
- 9/** 06-08 — 南科が企業を率いて 2023 国際半導体展に参加
 09-17 — IASP ルクセンブルク年會に出席
- 10/** 06 — 台湾バルカー南科支社の落成記念式
 17 — 南科台南園區二期基地第六配水池工事が完了
 21 — 大立晶材が開幕
 24-11/31 — 2023 労働安全衛生及び環境保護月間関連イベント及び優良な環境安全衛生部門と人員を表彰
- 11/** 03 — 2023 年度工場校正及び経営調査成績優秀機関団体賞を受賞
 橋頭園區デジタルイノベーション複合ビル群着工
 09 — 帆宣南科六工場の起工式
 10 — 台南市政府消防局と合同で「台南群創光電 D 工場地震発生時複合災害緊急対応訓練及び参観イベント」を実施
 11 — 第 17 回南科太陽光モデルカーファミリーチャレンジキャンプ
 15 — 2023 TCSA 台湾企業サステナビリティ・アワードにおいて「持続可能性報告書プラチナ賞」および「イノベーション成長リーダー賞」を受賞
 17 — 友好国の駐台代表台湾訪問団が南科を参観
 29 — 南科資源再生センターが省エネモデル賞銀賞を受賞
 30 — 高雄市政府消防局と合同で「路竹群創光電 F 工場地震発生時複合災害緊急対応訓練及び参観イベント」を実施
 30-12/03 — 南科の企業と共に 2023 台湾医療科技展に参加
- 12/** 02 — 南科ラブマンズイベント
 19 — 聯苑の従業員の児童のための非営利幼稚園が「公的機関の設立準備による職場託児施設評定」特優賞を受賞
 台南市環境保護局から 2023 年ディーゼル車大気品質維持自主管理実績優秀機関に選ばれる
 21 — 2023 クリスマス in 南科

2023 南部サイエンスパーク 年間報告書

発行 | 国家科学及び技術委員会南部サイエンスパーク管理局

発行人 | 蘇振綱

監修者 | 鄭秀絨、李信昌、林秀貞、陳郁良、上官天祥、董俊德、官嘉明、張秀敏、李國宏、
韓繡如、楊朝安、郭秀盆、莊書庭、曾榮傑、蔡明輝、陳志偉、林怡慧

編輯群 | 王雅嫻、吳淑順、周怡祺、王寧本、林隆發、才有財、蘇靖雅

編集責任者 | 張家彰、李之琦

発行所在地 | 744094 台湾台南市新市区南科三路 22 号

電話 | +886-6-505-1001

FAX | +886-6-505-0470

URL | <https://www.stsp.gov.tw/>

編集及び美術デザイン | 唐潮文創事業有限公司

所在地 | 110 台湾台北市信義区基隆路一段 432 号 6 階

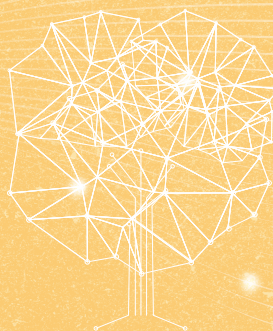
電話 | +886-2-2345-5882

FAX | +886-2-2345-9882

政府出版物統一コード番号 | GPN 4811100002

出刊日期 | 2024 年 6 月

創刊日期 | 2004 年 4 月



多彩な手書きイラストをふんだんに使用し、表紙から裏表紙まで黄色のリボンをかけ、南部サイエンスパーク管理局が中心となって全員で長年努力して作り上げた美しい風景の象徴として、南科の中の自然生態と様々な特色的景観を全て収めました。同様に同、南部サイエンスパーク管理局は時代と共に前進し、技術の発展と環境サステナビリティの両立に取り組む、目まぐるしく変わるこの時代において安定して成長してゆくための良質な環境を全ての入居企業に提供し、「長期発展」を目指して邁進しています。





国家科学及び技術委員会南部サイエンスパーク管理局
Southern Taiwan Science Park Bureau, National Science and Technology Council
744094 台湾台南市新市区南科三路22号 <https://www.stsp.gov.tw/>
Tel : 886-6-505-1001 Fax: 886-6-505-0470

政府出版物統一コード番号 : GPN 4811100002